

発行 福岡県社会福祉協議会  
子育て支援事業推進室

〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階  
TEL 092-584-3377 FAX 092-584-3369  
E-mail kosodate@fuku-shakyo.jp



元日の朝、田舎で見かけたかわいらしい巫女さん

## みんなで子育て

現在、民間と行政の協働による子育て支援が各地で実践されています。

もともと子育て支援活動は、地域のお母さんたちや子育て中の親子を見守る地域の方々によって、それぞれの地域性や生活のスタイル、ニーズに沿った形で実践されてきました。

育児の楽しさやお母さん自身の自己実現を目指したサークル活動。お母さん自身の人生を楽しみながら、育児を行うことは、子どもへの愛情を再確認する上でも大切なことです。主任児童委員や地域の有志の方が中心となった公民館等を利用したサロン活動。昔は当たり前だった地域での子育てを、サロン活動を通して取り戻そうとしています。

これらの子育て支援の活動を、その地域に住む誰もが利用できるような地域資源として

いくためには、行政の協力、支援が必要となります。

行政と企業、あるいはお母さんたちの自主的な活動がタッグを組んだ実践の例を紹介します。

(子育て支援事業推進室 はまさき)

### もくじ

- みんなで子育て ..... 1
- 須恵町の子育て支援 ..... 2~3
- 北九州市立  
子育てふれあい交流プラザ ..... 4

# 須恵町の子育て支援

須恵町では、ボランティアセンターを中心に、住民がお互いに地域生活を支え合う「共生のまちづくり」に取り組んでいます。子育て支援の取り組みとして、ボランティアセンター3階の子育て支援センター「つくしんぼ」と各行政区のボランティアが運営する子育てサロン「チャットルーム」があります。



手作りおもちゃの宝庫



折り紙もできます

## 子育てあそびのひろば つくしんぼ

### 子育てあそびのひろば 「つくしんぼ」

- ☆開館時間 午前10時～午後4時
- ☆休館日 日曜日・お盆・年末年始
- ☆参加費 無料(年間保険料として500円)

#### 今後のイベント

- 2月7日(火) 10:30～11:30  
子育て講座「よみきかせとわらべうた」
- 3月5日(日) 10:00～12:30  
ボランティア交流会  
須恵町の子育てサークル・支援団体が集まります!

須恵町ボランティアセンター3階にある「つくしんぼ」は、就学前の親子であれば、誰でもいつでも参加できる常設のサロンです。手作りの布おもちゃや絵本、寄付された子ども用のドレス、遊具などが置いてあり、とてもアットホームな空間になっています。ひとつひとつに個性があるおもちゃは、見ているだけでも飽きません。保育士の方が常駐しているの点、安心して遊びに来られるという点

取材に行った日は、お昼に数組の親子が、ロビーで楽しそうに弁当を食べており、友達を見つけた場にもなっているようです。中には、学生時代の同級生と再会したというお母さんもいました。町外から来られた方からは「自分の住む町には、高齢者の施設はたくさんあるけど、子どもの施設がありません。もっと身近なところに親子で遊べる『つくしんぼ』のような施設があったらいいな。」という声が聞かれました。



ドレスアップしています

#### 問い合わせは…

TEL 092-932-6300  
須恵町ボランティアセンター

TEL 092-933-2160  
須恵町社会福祉協議会

## こども



あっ、ママだ!



野菜も食べるもん



おいしいなあ



すべるぞ〜

# 行政区の子育てサロン

## チャットルーム

「チャットルーム」は現在、須恵町の5行政区で行われています。町と社会福祉協議会からの補助を受けて、行政区という小さな地域の中で活動しているサロンです。親子同士、あるいは地域の方とのふれあいの場として、利用している親子、運営するボランティア双方に好評です。

スタートして1年足らずという佐谷区では、主に子育てが一段落した27名の方が、ボランティアとして登録しています。毎月1回行われているサロンには、10数名のボランティアと10組前後の親子が参加しています。ボランティアの一人は、「地域で子育てを見守っていけるような体制を整えていきたい」と話してくださいました。

### 受付の様子 すっかい仲良しです



ドミノ倒していい?



絵本に集中する  
子どもたち



保育士さんの  
手遊び

当初は泣いて抱っこされてばかりだった子どもが、ママから離れてボランティアのところへハイハイで行くようになるなど、子どもが成長する喜びを地域のボランティアも一緒に感じています。

また、「チャットルーム」を通して、ママ同士のつながりもできています。

サロンでは、自由遊びの後に子どもも大人もみんなで片づけをします。きれいに片づいたところで、町から派遣される保育士による手遊びや読み聞かせがあり、最後はボランティアの方がお茶やお煎餅、手作りのお漬け物や煮豆を準備してください、

## 「チャットルーム」のルール

- ①参加する保護者たちによる自主運営の集合育児の場であること。
- ②健全な友だちづくり、交流、情報交換の場であること。
- ③宗教活動、営利活動、政治活動をしないこと。
- ④無意味な誹謗・中傷をしないこと。
- ⑤他の人の価値観や育児観を尊重すること。
- ⑥ミルク、お茶、おやつ以外の飲食物やおもちゃの持込を禁止する。
- ⑦伝染性の病気にかかった場合は、参加を控える。
- ⑧サークル内の子どもの怪我の責任はそれぞれの保護者が持つこと。

ゆっくりとおしゃべりの時間を過ごしています。

「チャットルーム」を担当している保育士の鐘ヶ江さんは「今では、大人も子どもも、何かに追われて生活している。ここでは、お母さんも子どもたちも時間やプログラムに追われない、ゆったりとした時間を過ごしてほしい。その中でいろんなものを親子で感じてほしい。」と話していました。



にこっ



それなあに?



アッ



ばあ

My son

写真館



# 子育てふれあい交流プラザ



平成17年12月23日、北九州市小倉駅北口側に北九州市立子育てふれあい交流プラザが開設されました。交流プラザは、「子育て支援フォーラム」「親育ち支援フォーラム」「地域子育て支援フォーラム」の3つの広場があり、子どもたちの遊び場だけでなく、子育て相談、地域の子育て支援の環境整備等、地域に根付いた子育て支援活動の要として、行政と民間との協働の子育て支援のひとつのモデルとなっています。

北九州市から交流プラザの運営を委託されている「子ども未来ネットワーク北九州」代表の松田弘志所長が、「子育てに悩む親たちに子育てのヒントを見つけてもらいたい。来場された親子にとって居心地の良い場となるよう、見守りスタッフの養成に力を入れています。」と語るとおり、スタッフの方は常に笑顔で来場者を見守ってくださり、さり気なく声をかけてくれたり、遊びのヒントをくれたりします。

オープン時から、一日に1,000人を超える来場者があり、休館日以外はほとんど毎日、イベントが企画されており、広い場内はたくさんの親子でにぎわっています。

スポンジのふかふかプール



木の玉の砂場



問い合わせは… TEL 093-522-4150  
北九州市立子育てふれあい交流プラザ  
北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIM3階  
HP <http://www.kosodate-fureai.jp>

## 入場料金 (フレイ)

子ども 100円/回

大人 200円/回

(団体割引あり)

(ファミリーパスポートあり)

また、交流プラザの中には、天然木で作られた滑り台、メリーゴーランドなどたくさんの木の遊具があり、子どもだけでなく、大人の心も魅了します。広いホールには、水遊び場があったり、思い切り落書きのできる壁があったり、スポンジだらけのプールがあったり、屋根裏部屋があったりと、普段はできない子どもたちの好奇心や遊びを実現できる夢のようなスペースとなっています。



大募集!

「ふくすく」に関する意見・要望、また子育てサロンへの取材依頼、子育てに関する様々なエピソードなどを募集します。皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)

自分が母になってからというもの、乳児を見るとつい声をかけてしまっています。せっけんのような赤ちゃん独特のいい香り。細くて柔らかい髪の毛。黒目がちな小さな瞳。爪があるのが不思議に思えるくらい小さな手。赤ちゃんは、どこをとってみてもそれは愛らしく、守ってあげたくなるものです。うちの子もほんの2年前はこんなに小さかったなあと思わしくなり、思わず抱っこをさせてもらいます。

それがあつという間に大きくなり、うちの息子ももうすぐ3歳です。ある日、公園で遊んでいると、散歩をしているおじいちゃんに出会いました。「今が大将やね。こんなにしわしわのおじいちゃんも、ついこの前まではあんなにみだいな子どもだったよ。あつという間におじいちゃんになるバイ。」と、頑固そうな顔をしわくちやの笑顔にして、しわだらけの大きな手を息子に見せてくれました。その何気ない言葉に、こちら思わず笑顔になりました。

私たちも、ついこの前までは子どもだったので。どんな人にも、愛らしい赤ちゃんの時代があったのですね。

